

蕾 冷

宮坂 静生



梅の花ひとつひとつが冥き穴
梅林のくらがりすこしづつ劈ひらく
寒紅梅脱ぎつぷりよき朝の富士
朝から灯し春灯とは違ふ
鶯や海の窖あなぐら魂ひそみ
花ミモザいよよ除染の狂ほしき
家中に風船およよ避難区域



雪消後の草のべつたり捨廃炉
とば口に吊るす骸骨水温む
落の臺わが半生に塔たたず
魁さきがけは錐揉む仕事卒業す
おぼろ夜の眼鏡に疵のあつまるよ
蕾冷つづく花冷鋼冷
春風や大法螺吹の樟の洞
どつかと碑根づき芽ぶきの荒川区